

令和6年度

# 島根 教弘 会報

vol.2



「体育館倉庫の用具たち」 出雲市立湖陵小学校六年 福田天志朗さん

公益財団法人 日本教育公務員弘済会島根支部  
株式会社 島 根 教 弘

# 子供たちの未来のために

公益財団法人 日本教育公務員弘済会島根支部

副支部長 永田千秋



今年の夏はパリオリンピック・パラリンピックで世界中が熱狂に包まれた。オリンピックでは日本選手も、金メダル20個、銀メダル12個、銅メダル13個、計45個のメダルを獲得した。これは、歴代2位で海外開催では最多のメダル数とのことだ。

この華々しい活躍の裏には、挫折や敗北感にうちのめされ、努力が評価されずに不安が募る事もあったようだ。また、怪我をしたり、思うように練習が出来なかったりと、苦しみの3年間であったという選手もいた。本番では、莫大なプレッシャーがかかり、選手が五輪で普段通りにやり遂げることがいかに難しいか目の当たりにした。そして、戦いを終えた選手のほとんどが、「たくさんの人に支えられ、メダルを獲得できた」「助け合うことで諦めずに前進できた」「応援してくれた方から勇気をもらった」「監督や家族、友達の支えがあって成し遂げることができた」等、笑顔と涙で感謝の言葉を口にした。この選手たちの姿から、人と人との繋がりや個々の努力が結実して、新たな可能性を生むことの素晴らしさを痛感した。

ところで、教職に携わっていた私の人生の中で、人と人との繋がりや素晴らしさを実感していることがある。今年の正月に一人の教え子から、50枚目の年賀状が届いた。差出人は、教員になって2年目に担任したS君からだ。当時はまだ、女性が中学校で担任をする事は珍しかった。しかも大学を卒業して2年目の、何も分からない若い女性が担任になったのである。生徒たちには、なかなか指示が届かない。一言の指示で生徒たちが動く先輩の先生方をいつも尊敬し、うらやましく思った。初めて担任をした1年3組で、ワイワイガヤガヤの生徒たちと悪戦苦闘の日々が続いた。でも、研究授業の時は、「僕らがちゃんとして、発表するから、先生も頑張っただね。」と励まされた。また、生徒たちと共に行事に取り組み、喜び合ったり悲しんだりした事を思い出す。生徒の事を考え、生徒たちと共に学んだ記憶が蘇る。

S君からの年賀状には、毎年手書きで近況がメモってあった。「大学に進学しました」「就職しました」「結婚して子供ができました」「子供が結婚して、孫ができ、おじいちゃんになりました」「還暦を迎え退職しました」等々。振り返ると50年。改めてこの年月の凄さに驚き、S君に出会えたことを誇りに思う。その後の学校の教え子からも数人ではあるが、毎年年賀状が届く。今思えば、その当時に何の指導力もなかった私を、いつまでも忘れずにいてくれる生徒に出会えたことは、私の教員人生の宝物である。人と人との心の繋がりのある教職に携わったことに感謝し、教職の素晴らしさを改めて感じる。

「児童生徒のためにどうすることが良いのか、どうすれば児童生徒のためになるのかを常に考えて行動すれば、間違いはない。」と、かつての上司から教わった。その言葉を、常に自分の頭の中に入れて、教育活動を実践してきたように思う。それは、「最終受益者は子供たちである。」という弘済会の基本理念と同じである。未来ある子供たちのために、どうするのが良いのかを考え、子供たちと繋がり、共に成長したいものである。

令和6年度

# 教育実践研究論文ご応募ありがとうございました

令和6年度教育実践研究論文を令和6年1月8日～3月31日に募集したところ、学校部門（教育研究団体を含む）に13編、個人部門（研究グループを含む）に13編の応募がありました。

5月から8月にかけて、第一次選考委員会（選考委員8名）、第二次選考委員会（選考委員10名）をそれぞれ2回実施し、「最優秀」「優秀」「優良」「奨励」の各賞および令和6年度日教弘教育賞推薦論文（学校部門1編、個人部門2編）を決定しました。

作品の応募状況、選考結果については次頁以降に掲載しています。

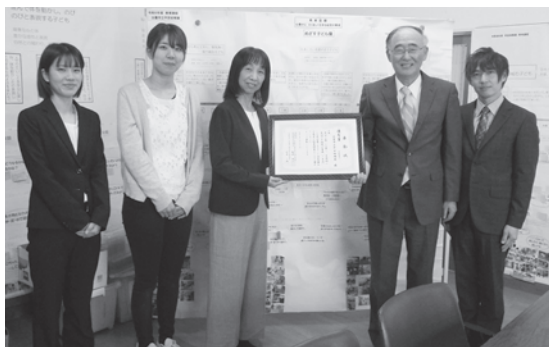
「奨励」以上の作品には助成金を贈りました。加えて、「優秀」以上の作品には賞状を添えて業績を称え表彰しました。なお、「最優秀」と「優秀」に選ばれた作品は、『島根の教育研究と実践』としてまとめ、令和7年3月、各園・学校及び教育機関に配付することとしています。



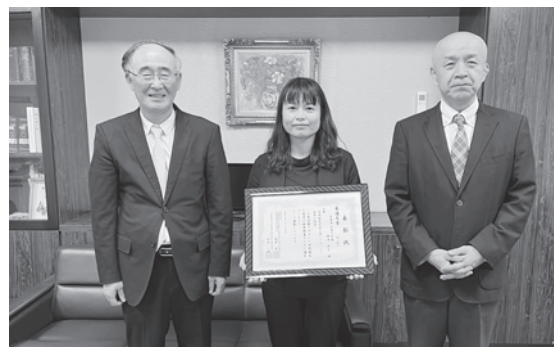
最優秀（学校部門）  
雲南市立西日登小学校において



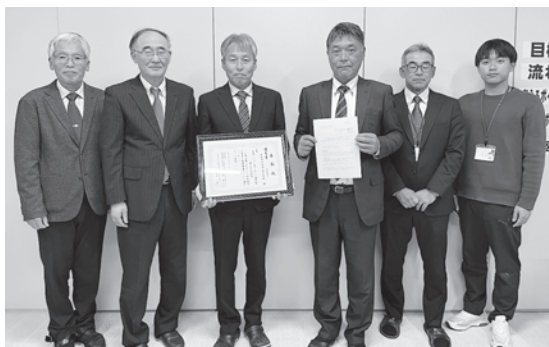
最優秀（個人部門）  
PIECE of PEACE 島根教師の会  
雲南市立加茂小学校（前年度雲南市立斐伊小学校）において



優秀（学校部門）  
出雲市立平田幼稚園において



最優秀（個人部門）郷原 牧子教諭  
出雲市立南中学校（前年度雲南市立掛合中学校）において



優秀（学校部門）大田市立大田西中学校において  
（併せて学校教育活動助成も実施）



優秀（個人部門）鹿足郡養護教諭部会  
津和野町立津和野小学校において

# 1. 令和6年度応募状況

## (1) 部門別

学校部門(教育研究団体を含む)	13編	個人部門(研究グループを含む)	13編
-----------------	-----	-----------------	-----

## (2) 地域・校種別

	松江	安来	雲南	仁多	飯石	出雲	大田	江津	邑智	浜田	益田	鹿足	鳥後	鳥前	計
幼						2									2
小			3			2						3			8
中			1			1	2	1			1	1			7
高												1			1
特	4								1	2	1				8
計	4	0	4	0	0	5	2	1	1	2	2	5	0	0	26

# 2. 令和6年度教育実践研究論文一覧

【学校部門(教育研究団体を含む)】

※所属、氏名は令和6年3月現在です。

地区名	学校名・申請代表者氏名	研究主題等	評価
鹿足	津和野町立津和野小学校 中尾 瑞紀	職員みんなで考える働き方改革の実践 ～学校生活時程の変更による授業準備時間の確保～	
出雲	出雲市立南中学校 竹田 博司	主体的に生活習慣の改善に取り組む生徒の育成 ～コロナ禍で悪化した睡眠・運動・ストレスを改善し、学校意欲を高める～	
益田	島根県立益田養護学校 落合 由美	地域の中で力強く生きる子どもの育成を目指して ～主体的・対話的で深い学びの授業改善～	
出雲	出雲市立塩冶幼稚園 今岡 篤子	多文化共生社会における幼児教育について ～日系サポーター研修受け入れ事業を通して～	
出雲	出雲市立平田幼稚園 田中 佳江	自分の思いを表し、主体的に生活する幼児の育成(1年次) ～幼児の『面白い』を支えながら～	優秀賞
益田	益田市立東陽中学校 豊田 邦昭	ねばり強く取り組み つながりあって成長する生徒の育成 ～ICTを活用した授業改善及び授業と家庭学習の往還～	
大田	大田市立第一中学校 和田 美佐	未来を生きる資質・能力を身につけた生徒の育成 ～わかる・できる・つながる授業づくりをめざして～	
浜田	島根県立浜田ろう学校 永瀬 正幸	聴覚障がい児への指導と支援について ～センター的機能の充実を目指した実践から～難聴学級支援を中心に～	
大田	大田市立大田西中学校 伊藤 浩二	生徒とともに学び合う人権学習 ～外部機関とのリモートによる取り組みに視点をあてて～	優秀賞
雲南	雲南市立西日登小学校 三島 伸仁	かかわり合い 人間関係を深め 自分たちで生活をつくる にしっ子の育成 ～認め合い よさを発揮し合う 話合い活動を通して～	最優秀(推)
松江	島根県立松江ろう学校 中村 明子	子どもが主体的・対話的に活動し学びを深める授業づくり ～協働的な学びの設定を通して～	
鹿足	津和野町立木部小学校 澤江 健	子どもも大人も共に育つ学びの協働 ～ねらいを明確化・共有化したふるさと教育の実践を通して～	
鹿足	津和野町立津和野中学校 林 衛	生徒の学習習慣や学習への意識や行動の変容に関する研究 ～自分の学習特性を認識する活動や他者との話合い活動を通して～	

【個人部門（研究グループを含む）】

※所属、氏名は令和6年3月現在です。

地区名	学校名・申請代表者氏名	研究主題等	評価
松江	島根県立松江養護学校 佐々木 喜美予	子どもたちの「やってみたい」を「できた」に結び付ける授業実践について ～知的障がい養護学校小学部のソプラノリコーダーの実践より～	
出雲	出雲市立今市小学校 鶴原 渡	「比例」で単元をつなぎ、数量の関係を考察する力を育成する学びの構想 ～数直線を活用した「単位量あたりの大きさ」の授業の工夫から～	
松江	島根県立松江緑が丘養護学校 渡部 英治	安心・安全感と自己決定を大切にした就労支援 ～ワークセンターみどりの実践から～	
江津	江津市立江東中学校 大塚 裕子	「書くこと」への意欲と技能を向上させる授業の実践 ～グループ学習と連動したワークシートの活用を通して～	
雲南	PIECE of PEACE 島根教師の会 (雲南市立斐伊小学校) 古川 善正	これからの「新しい平和学習」に求められているもの ～戦争を知らない世代による平和学習実践を支援する環境整備 に向けた提案と取組～	最優秀 (推)
雲南	雲南市立大東小学校 佐藤 慎悟	学習意欲を高め、数学的な資質能力を高める授業づくりを目指して ～数学的な見方・考え方を働かせ、ICT機器を有効活用した授業実践を通して～	
鹿足	島根県立吉賀高等学校 勝部 千良	吉賀高校のさらなる魅力化への模索 ～魅力化評価システム・関係者からの声をいかして～	
浜田	島根県立浜田養護学校 内田 美穂	思考を深めながら課題解決に向かう生徒の育成 ～ESDの視点に立った生活単元学習の取組～	
出雲	出雲市立今市小学校 森山 智子	音楽づくりと歌唱との一体的学びの構想 ～子どもの生活経験、学習経験を生かした動作化と言語化の往還を 通して和音をとらえる～	
松江	島根県立松江ろう学校 手銭 真由美	数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力の育成を目指した授業づくり ～実生活の事象をテーマにした学校設定科目「数学課題研究」の取組み～	
邑智	島根県立石見養護学校 二又 美央	がん教育を通して、望ましい行動選択と自立した生活を目指す ～特別支援学校におけるICTを活用したがん教育の推進～	
雲南	雲南市立掛合中学校 郷原 牧子	地域探究学習を通じたキャリア教育の推進 ～「掛合まちおこし大作戦～掛合の虜にしちゃいます～」の取組を 通して～	最優秀 (推)
鹿足	鹿足郡養護教諭部会 大羽 康子	将来の健康行動につながる「がん教育」 ～養護教諭の専門性の向上を図った実践を通して～	優秀賞

※評価の欄は、「優秀」以上を記載しています。(推)は、令和6年度日教弘教育賞推薦論文です。

3. 選考結果 [評価段階別一覧表]

部門・評価	最優秀	優秀	優良	奨励	選外	合計
学校部門	1	2	6	4	0	13
個人部門	2	1	6	4	0	13

# (公財)日教弘島根支部は 島根の子どもたち・教職員の皆様を応援しています

## (1) 令和6年度高等学校等給付奨学生と、貸与奨学生を決定しました。

令和6年度給付奨学生（高校生等対象）を募集したところ37校から応募があり、選考の結果39名を給付奨学生として決定しました。一人15万円、総額585万円（予算720万円）を給付しました。

また、令和6年度貸与奨学生（大学生等対象）を募集したところ10名の応募があり、選考の結果10名全員を貸与奨学生として、総額850万円を貸与することに決定しました。

奨学生の皆さんが、学業をはじめ様々な活動に意欲的に取り組み、夢に向かって前進されることを期待しています。

### 高校等給付奨学生成果報告書から（プライバシー保護のため一部改変しています。）

私は、母子家庭で育ちこれまでも行政等の援助をいただき学校生活を送ってきました。高校進学後は昨今のIT化授業に伴い、学校ではスマートフォンの購入は必須です。小さい画面での課題提出は大変不便で、パソコンの購入が必要となりましたが、今後数年間授業で使える仕様のものは高価なものばかりでした。その上、入学の際に教材や準備品などで想像以上に費用がかかり、すぐにパソコンを購入することは難しかったです。

そんな時に給付奨学生の制度を知り申し込みをしました。その後、給付が決まり無事にパソコンを購入できました。課題の提出や調べ物がしやすくなり、スムーズに勉強が進むようになりました。今はまだ基礎的な部分を学んでいる段階ですが、今後は自分で研究してその成果を生かしたのを作りたいと思っています。将来の夢ははっきりとは決まっていませんが、社会に貢献できるよう、今後もしっかりと学んでいきたいと思っています。

最後に、金銭的な悩みを持つ家庭の学生を支援していただけることは、勉強に対する意欲を諦めることなく継続できるたいへんありがたいものであり、その活動に心から感謝いたします。

この度は給付奨学生に採用していただき、ありがとうございました。私は幼い頃から理学療法士になることが夢でした。

わたしの両親は4年前に離婚をして母だけの収入になり少し生活が苦しくなりました。母に負担をかけたくないと思い進学について迷っていました。しかし、専門学校のオープンキャンパスに参加するたびに、やっぱり自分の夢を諦めたくない、進学したいという気持ちが大きくなり、進学することに決めました。私は奨学金を受験料や学校で使うパソコンの一部に充てました。そのおかげで私は行きたい学校に進学することができます。進学しても勉強についていけるように学校から配布された課題に毎日少しずつ取り組み、復習や予習をしています。入学後は、日々勉強や実習等に励み、資格にも積極的に挑戦していきたいと思っています。将来は海外でも活動できるような理学療法士になりたいと考えています。その目標に向けて諦めずに知識や技術を身につけ、頑張っていきたいと思っています。

この度は奨学金の給付をしていただき、本当に本当にありがとうございました。

## (2) 令和6年度教育研究助成事業（研究大会助成）へ助成しました。

No.	給付団体名	研究・実践内容	助成額
1	中国地区高等学校定時制・通信制教頭・副校長会協会	令和6年度中国地区高等学校定時制・通信制教頭・副校長会協会研究協議会	10万円
2	第62回全国小学校社会科研究協議会研究大会島根大会実行委員会	第62回全国小学校社会科研究協議会研究大会島根大会	30万円
3	島根県造形教育研究会	第36回中国五県造形教育研究大会（島根大会）	15万円
4	中国地区福祉科高等学校長会	令和6年度中国地区福祉科高等学校長会総会・研究協議会・学科主任等研究協議会	10万円
5	中国・四国地区特別支援学校知的障害教育校PTA連合会	令和6年度第35回中国・四国地区特別支援学校知的障害教育校PTA連合会研究協議会（島根大会）	5万円



中国地区高等学校定時制・通信制教頭・副校長会協会へ助成（島根県立浜田高等学校において）



中国地区福祉科高等学校長会へ助成（学校法人益田永島学園明誠高等学校において）



島根県造形教育研究会へ助成（大田市立大田小学校において）



第62回全国小学校社会科研究協議会研究大会島根大会実行委員会へ助成（出雲市立出東小学校において）



中国・四国地区特別支援学校、知的障害教育校、PTA連合会へ助成（島根県立石見養護学校において）



(3) 令和6年度教育文化事業（学校教育活動助成、へき地学校教育支援、読書活動推進助成）へ助成しました。

学校教育活動助成

No.	応募団体名	研究・実践内容	支出内容
1	島根県算数・数学教育研究会	しまね数リニピック	参加賞 (缶バッジ・クリアファイル)、優秀賞以上 (メダル) 258,610円
2	島根県中学校技術・家庭科研究会	島根県中学生創造ものづくり教育 フェア	ロボットコンテスト大会参加賞及び副賞 50,000円

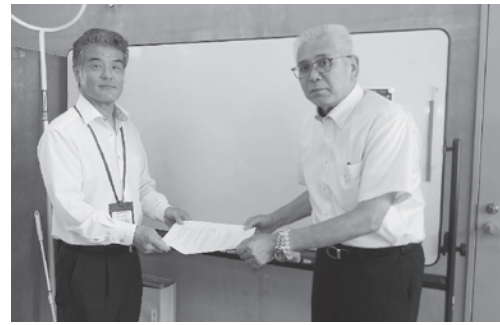
へき地学校教育支援

No.	応募学校名	実施する事業名	給付額
1	隠岐の島町立五箇小学校	栽培活動	8万円
2	知夫村立知夫中学校	I C Tを活用した協働的な学習の推進	8万円
3	浜田市立波佐小学校	みんなで波佐の子どもを育てる ～コミュニティースクール導入に向けて～	8万円
4	美郷町立大和小学校	主体的に問題解決し、ともに学ぶを楽しむ子どもの育成	8万円
5	隠岐の島町立有木小学校	しっかり観察し記録に残そう	8万円
6	美郷町立大和中学校	荷越瀬プロジェクト神楽コース	8万円
7	益田市立匹見中学校	伝統芸能石見神楽を学ぶ	8万円
8	安来市立山佐小学校	極小規模小学校における「伝え合う力」の育成に向けた授業方法の研究	5万円
9	邑南町立矢上小学校	日貫小・市木小・矢上小交流学習	5万円
10	益田市立桂平小学校	へき地学校交流活動事業	5万円
11	吉賀町立柿木小学校	学校図書館活用推進事業	5万円
12	雲南市立吉田中学校	学校保健委員会兼P T A研修会「性教育講演会」	5万円
13	邑南町立瑞穂中学校	I C T機材整備活用事業	5万円
14	浜田市立今福小学校	学校図書館環境の整備事業	5万円
15	川本町立川本小学校	タイムタイマー活用法	5万円





美郷町立大和小学校へ助成  
(へき地学校教育支援)



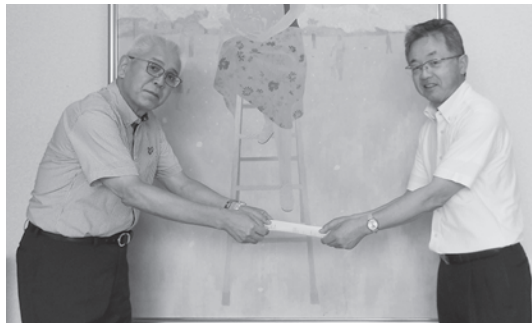
美郷町立大和中学校へ助成  
(へき地学校教育支援)



安来市立山佐小学校へ助成  
(へき地学校教育支援)



益田市立桂平小学校へ助成  
(へき地学校教育支援)



浜田市立今福小学校へ助成  
(へき地学校教育支援)



邑南町立矢上小学校へ助成  
(へき地学校教育支援)



雲南市立吉田中学校へ助成  
(へき地学校教育支援)



川本町立川本小学校へ助成  
(へき地学校教育支援)

## 読書活動推進助成第1回（各校4万円を助成）

（出雲教育事務所管内小学校41校）

No.	学校名	No.	学校名	No.	学校名	No.	学校名
1	出雲市立今市小学校	12	出雲市立稗原小学校	23	出雲市立湖陵小学校	34	雲南市立加茂小学校
2	出雲市立大津小学校	13	出雲市立神西小学校	24	出雲市立大社小学校	35	雲南市立寺領小学校
3	出雲市立上津小学校	14	出雲市立平田小学校	25	出雲市立荒木小学校	36	雲南市立三刀屋小学校
4	出雲市立塩冶小学校	15	出雲市立国富小学校	26	出雲市立遙堪小学校	37	雲南市立田井小学校
5	出雲市立神戸川小学校	16	出雲市立西田小学校	27	出雲市立莊原小学校	38	奥出雲町立三沢小学校
6	出雲市立高松小学校	17	出雲市立鱒淵小学校	28	出雲市立西野小学校	39	奥出雲町立馬木小学校
7	出雲市立長浜小学校	18	出雲市立さくら小学校	29	出雲市立中部小学校	40	飯南町立頓原小学校
8	出雲市立四絡小学校	19	出雲市立朝陽小学校	30	出雲市立出東小学校	41	飯南町立赤名小学校
9	出雲市立高浜小学校	20	出雲市立窪田小学校	31	雲南市立西小学校		
10	出雲市立北陽小学校	21	出雲市立須佐小学校	32	雲南市立佐世小学校		
11	出雲市立みなみ小学校	22	出雲市立多伎小学校	33	雲南市立海潮小学校		

（浜田教育事務所管内小学校29校）

No.	学校名	No.	学校名	No.	学校名	No.	学校名
1	浜田市立松原小学校	9	大田市立朝波小学校	17	大田市立仁摩小学校	25	邑南町立阿須那小学校
2	浜田市立石見小学校	10	大田市立北三瓶小学校	18	江津市立郷田小学校	26	邑南町立瑞穂小学校
3	浜田市立今福小学校	11	大田市立志学小学校	19	江津市立渡津小学校	27	邑南町立市木小学校
4	大田市立大田小学校	12	大田市立川合小学校	20	江津市立江津東小学校	28	邑南町立矢上小学校
5	大田市立長久小学校	13	大田市立久屋小学校	21	江津市立川波小学校	29	邑南町立日貫小学校
6	大田市立五十猛小学校	14	大田市立大森小学校	22	江津市立津宮小学校		
7	大田市立鳥井小学校	15	大田市立高山小学校	23	江津市立桜江小学校		
8	大田市立久手小学校	16	大田市立温泉津小学校	24	美郷町立大和小学校		

（益田教育事務所管内小学校23校）

No.	学校名	No.	学校名	No.	学校名
1	益田市立益田小学校	9	益田市立西益田小学校	17	津和野町立木部小学校
2	益田市立高津小学校	10	益田市立桂平小学校	18	津和野町立日原小学校
3	益田市立吉田小学校	11	益田市立戸田小学校	19	津和野町立青原小学校
4	益田市立吉田南小学校	12	益田市立中西小学校	20	吉賀町立柿木小学校
5	益田市立安田小学校	13	益田市立東仙道小学校	21	吉賀町立七日市小学校
6	益田市立鎌手小学校	14	益田市立都茂小学校	22	吉賀町立六日市小学校
7	益田市立真砂小学校	15	益田市立匹見小学校	23	吉賀町立蔵木小学校
8	益田市立豊川小学校	16	津和野町立津和野小学校		

（隠岐教育事務所管内小学校8校）

No.	学校名
1	海士町立海士小学校
2	知夫村立知夫小学校
3	隠岐の島町立西郷小学校
4	隠岐の島町立中条小学校
5	隠岐の島町立有木小学校
6	隠岐の島町立北小学校
7	隠岐の島町立五箇小学校
8	隠岐の島町立都万小学校



出雲市立朝陽小学校へ助成



吉賀町立七日市小学校へ助成

# 会員の皆様がより健康で豊かな生活を営むための福祉事業も行っています。

表 I

項目	内 容	実 績		
		R 5 年度	R 4 年度	R 3 年度
(1)傷病見舞金	傷病で長期に継続休暇・休職をした場合に給付 ・ランクにより対象休暇日数、見舞金は異なる	11件 126,000円	11件 114,000円	9件 115,000円
(2)災害見舞金	不慮の事故で財産に著しい損害を受けた場合に給付 ・損害の程度により見舞金は異なる	0件 0円	0件 0円	0件 0円
(3)結婚祝金	結婚した場合、祝金 2万円を給付 *一人 1 回	70件 1,400,000円	70件 1,400,000円	63件 1,260,000円
(4)出産祝金	出生の子ごとに 1 万円を給付 ・正会員の配偶者の出産も対象 ・正会員夫婦の場合、双方に給付	103件 1,040,000円	142件 1,460,000円	147件 1,480,000円
(5)弔慰金	物故会員に弔慰金 3 万円をお供え	10件 300,000円	9件 270,000円	9件 270,000円
(6)宿泊施設利用補助	指定の宿泊施設利用に補助 ・ Bランク正会員2,000円/泊 年間 6 泊まで Cランク正会員3,000円/泊 年間 6 泊まで D・Eランク正会員3,000円/泊 年間 9 泊まで	146件 408,000円	115件 316,000円	89件 247,000円
	島根県教育会館の宿泊利用に対して補助 500円/泊	休業	休業	219件 109,500円
(7)その他 (株)島根教弘が行う記念品贈呈等	①新規加入者記念品 ②ユース教弘移行記念品 ③加入者記念品			

日教弘の会員は、「入会資格を満たす者のうち、日教弘の趣旨に賛同し、入会申込をした者」としています。

島根支部の会員のうち、教弘保険に加入している方を島根支部の福祉事業の対象者とし、表Ⅱのとおり教弘保険の加入口数に応じて A 会員、正会員 (B 正会員、C 正会員、D 正会員、E 正会員) と称し、表 I の福祉事業を受けることができます。

なお、対象の事業は、A 会員は表 I の (1) (2)、正会員は (1) ~ (7) です。

また、表 I の (1) ~ (5) については事実が発生してから 2 年以内に申請してください。

詳しくは、令和 6 年度島根教弘会報 vol. 1、(公財) 日教弘島根支部の HP をご覧ください。

この他に (公財) 日教弘本部が提供する福利厚生サービス「日教弘クラブオフ」は、日教弘会員であれば、教弘保険未加入の方も利用できます。

島根県内の特典は  
こちらから ➔



表Ⅱ：福祉事業サービス基準(島根支部)

ランク	加入内容 (付属保険は含まない)	
A 会員	教弘保険 (No52) 新教弘保険 A 型、B 型、S 型	単独又は通算して 1 口以上 6 口未満
B 正会員	教弘保険 (No52)、ユース教弘保険 新教弘保険 A 型、B 型、S 型	単独又は通算して 6 口以上 16 口未満
	新教弘保険 K 型 (追加集団)	1 口 ~ 2 口
C 正会員	教弘保険 (No52)、ユース教弘保険 新教弘保険 A 型、B 型、S 型	単独又は通算して 16 口以上 26 口未満
	新教弘保険 K 型 (追加集団)	3 口
D 正会員	教弘保険 (No52)、ユース教弘保険 新教弘保険 A 型、B 型、S 型	単独又は通算して 26 口以上 46 口未満
	新教弘保険 K 型 (追加集団)	4 口
E 正会員	教弘保険 (No52)、ユース教弘保険 新教弘保険 A 型、B 型、S 型	単独又は通算して 46 口以上
	新教弘保険 K 型 (追加集団)	5 口以上

## 新会員からの声

### 「その子らしく、私らしくを大切に」

松江市立法吉小学校

錦 織 真 優

子どもたちに会える喜びと、漠然とした不安を抱えた始業式のことを、今でも鮮明に覚えています。

福岡県の大学に進学した後、地元島根で教員をしたいという強い思いがあり、現在は松江市の小学校で教員をしています。コロナ禍での大学生活は子どもたちとの関わりが制限されたり、オンライン授業が多く開講されたりし、なかなか実践的な指導を受けることが難しい中ではありましたが、教育実習を終え、小学校教員への夢がより現実味を帯びたように感じました。

そんな大学生活を終え、いざ現場に出てみると、自分の想像と現実とのギャップや、うまくいかないことの連続で、たくさんの方や保護者の方々に支えていただいていることに感謝している日々です。教材研究や学級経営、子どもたち同士のトラブルの解決方法や、声掛けの仕方など、知識としては知っていることでも、一つ一つ丁寧に対処しなければならぬという事を実感しています。

子どもたちと出会った当初、私は「教員としてうまくやらなければならぬ。」と思っていました。しかし、一学期を終えた今、私は「目の前の子どもたちのために何ができるのか・どうしたらよいかを深く考えること」を大切にしようと思っています。

「みんなちがって みんないい」誰一人として同じ人はいないからこそ学校って楽しいんだ！クラスって面白いんだ！という思いを忘れずに、これからも頑張っていこうと思います。

## 事務局から ～島根支部の事業説明会について～

日教弘島根支部では、島根支部の事業をご理解、ご活用いただくために、県内の各学校等で事業説明会を開催しています。今年度は、放課後や夏休み中などに15分程度の時間をいただき、55校園(11月7日現在)で日教弘の目的、歴史や島根支部の事業内容などを説明しました。説明後のアンケートでは、「弘済会がどのような活動をしているのかよく分かりました。」「様々なサービスを準備していただいているので是非利用したいと思います。」等の感想をいただいています。今後も事業説明会を開催したいと考えていますので、よろしくお願ひします。

## 令和6年度末 退職予定の方を対象に「退職予定者説明会」を開催します

日教弘共済事業の提携会社であるジブラルタ生命保険株式会社の協力を得て、退職予定者説明会を下記のとおり開催します。この説明会では、教弘保険等の退職後のお払込方法変更手続きや友の会入会のご案内に加え、これからの生活設計のお役にたてるよう、リタイアメント・ライフのためのセミナー等を実施します。

### 期日・会場





- 松江会場 11月23日(土) 10:00~12:30 くにびきメッセ
- 出雲会場 12月 7日(土) 10:00~12:30 出雲市民会館
- 江津会場 11月30日(土) 10:00~12:30 ミルキーウェイホール
- 益田会場 12月 8日(日) 10:00~12:30 益田市民学習センター

## 共済事業 (提携保険事業)

「教弘保険」は教職員だけが加入でき、教職員の生活保障、併せて福利厚生、教育振興をトータルに実現する制度です。このように「共済性」と「公益性」の機能を併せ持つ教弘保険は他の生命保険にはない特長をもつ生命保険です。

# すべての教職員の皆様へ

ご自身・ご家族の病気・怪我に要する医療・介護の費用、さらに万一の場合への備えをどうするか。また一方で、子供の教育資金、住宅資金、老後資金など、生命保険はこのようなりスクを経済的にカバーする手段のひとつです。下記のライフサイクルを基に「LC (ライフプランコンサルタント) サービス」を使って必要保障額を算出し、ご自身・ご家族の将来への備えを考えてみましょう。

<p>教員として就職、そして結婚。死亡保障とともに不慮の事故に対応する保障 (高度障害等) を考えましょう。</p> 	<p>子供が生まれ家族への責任が重くなります。子供への教育資金、住宅購入資金等を考え始めるこの年代は必要保障額が大きくなります。</p> 	<p>教育・住宅資金等30代の時より更に資金が必要。加齢に伴い医療保障の充実を考えなければなりません。その他にも老後資金についてもそろそろ準備を始めましょう。</p> 	<p>子供の教育資金がピークを迎え、老後資金準備も重要な年代です。加齢に伴う健康不安から、医療保障の必要性も高まり、夫婦どちらかの親の介護に取り組む場合もあります。</p> 
<b>20代</b>	<b>30代</b>	<b>40代</b>	<b>50代</b>

<p><b>加入例</b> 22歳 (死亡保険金 3,000万円 / 災害割増特約 900万円)</p> <p>39歳まで</p> <p><b>ユース教弘保険</b> (災害割増特約付集団契約特約付勤務保険)</p> <p>月払保険料 <b>4,539円</b></p>	<p><b>加入例</b> 39歳 (死亡保険金 3,000万円)</p> <p>65歳まで</p> <p><b>新教弘保険A型</b> (集団契約特約付勤務保険)</p> <p>月払保険料 <b>10,530円</b></p>	<p>65歳加入 80歳まで継続できます</p> <p><b>新教弘保険K型</b> 5年毎更新 (集団契約特約付勤務保険)</p>
---	--	--

※ユース教弘の保障期間は39歳まで継続します。  
 ※ご契約にあたっては、必ず共済事業 (提携保険事業) 提携会社ジブラルタ生命保険㈱のLC (ライフプラン・コンサルタント) にお問い合わせの上、必ず「契約概要」「注意喚起情報」「ご契約のしおり・約款」をご確認ください。上記の内容は2024年10月末日現在の概要を示したものです。

## 損害保険事業

**公益財団法人日本教育公務員弘済会 団体保険**

教職員のみなさま専用の保険 2024年8月～2025年7月加入のご案内

# 教弘まなびや スーパープラン

教育業務中だけでなく、日常生活のトラブルからも教職員の皆さまをトータルでお守りします。

(団体総合生活保険) 団体割引・損害率による割引あわせて

# 約 41% 割引

※天災危険補償部分の保険料は、団体割引のみ適用となります。

約12,000人の方がご加入されています

**自動更新** 2024年8月1日始期

2024年8月1日午後4時～2025年8月1日午後4時 (1年間)

中途加入の補償期間 毎月20日締切で、提出締切日の翌月1日午前0時～2025年8月1日午後4時

募集期間 2024年5月31日(金)～2025年6月20日(金)

**加入者資格** 公益財団法人日本教育公務員弘済会の会員で、以下に該当する方

- 公立学校の教職員
- 国立学校および私立学校の教職員
- 教育委員会の職員
- 教職員団体の役員及び職員
- 日教弘および日教弘の本部および各県の職員
- 1.～5.の退職者

**被保険者になれる方の範囲** 公益財団法人日本教育公務員弘済会の会員で、以下に該当する方


- 公立学校の教職員
- 国立学校および私立学校の教職員

[ご注釈] 教育委員会・教育事務所職員のの方は、被保険者になれません。

※「教職員」とは、学校教育法に規定する学校の校長および教員ならびに部活動を指導する教育関係の職員等

**ホームページから資料請求 いただいた方へもれなく粗品をプレゼント しています**

公益財団法人 日本教育公務員弘済会 [www.nikyoko.or.jp](http://www.nikyoko.or.jp)



このご案内は、「教職員賠償責任保険」「団体総合生活保険(まなびや)」の概要について説明したものです。保険の内容は、パンフレットをご覧ください。詳細は団体が保有する保険約款によりますが、ご不明な点がありましたら、代理店または引渡保険会社 東京海上日動火災保険㈱におたずねください。ご加入に際しては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。 2024年2月作成 募集文書番号23T-002627

令和6年度教育実践研究論文、学校部門「最優秀」の論文の概要です。他の「最優秀」、  
「優秀」も含めて、令和7年3月発刊予定の『島根の教育と実践』で全文を紹介します。

## かがわり合い人間関係を深め自分たちで生活をつくるにっ子の育成

～ 認め合いよさを発揮し合う話合い活動を通じて～

雲南市立西日登小学校

### 研究の方向性

素直で優しく、困っている友達を助けようとしたり、何事にも一生懸命取り組んだりする姿がみられる一方で、少人数であるがゆえ、相手を思いやり意見を引っ込めてしまったり、現状をよしとして新しいアイデアが出にくかったりする実態がある。このことから、特別活動の研究推進を行い、課題解決に向けて誰もが合意形成に関わり、集団の中で役割を担い、協力し合って実践するなどの特別活動の充実を図ることで、さらに児童の力を高めることができると考えた。本研究では、自分の思いを相手に伝えること、互いの意見を認め合い折り合いをつけながら新しいアイデアを創り上げていく力を育成すること、他者の多様な思いや考えに触れながら主体的な学びや協働的な学びを通して自分も他者も伸びようとする力を育成することを目指す。

### 実践内容

#### ① 「話合いの流れ」の明確化

互いの意見を認め合い、よりよいものにしてほしいという願いから、話合いの流れを「出し合う→高め合う→まとめる（決める）」に変更する。

#### ② 自分たちの力で進められる話合い活動の定着

話合いの進め方が定着するよう「話合いガイド」を作成し、活用する。

#### ③ 一人一人の意見を大切に「可視化」の支援

短冊や磁石、ホワイトボードなどを活用し、良い点や改善点が分かるような色分けをするなど工夫【図1】する。

#### ④ 「意見をまとめる術」の活用

オリジナルの「話合いハンドブック」を作成。折り合いをつけることについて触れ、合意形成の6つの方法を「～の術」という忍者の術を用いて知らせる。話合いの中でも忍者の術【図2】に適宜触れて、解決方法は1つではないことについて定着を図る。

#### ⑤ 話合いの土台作りの取組

毎週火曜日、朝活動の全校活動「さくらタイム」で二者択一、アドジャンなどの活動。異学年でコミュニケーションを図る機会を設けた。安心して自分の考えや気持ちを話すことができるよう、グラウンドルール（やくそく）を決め、確認してから、「さくらタイム」を実施する。



「板書の工夫」 図1



「意見をまとめる術」 図2

### 研究実践の考察

「学級活動や児童会活動などの話し合い活動で、児童の発意・発想を生かした活動の場を保障し、互いの思いを大切に言語活動や支援の在り方を工夫したことで、友達の多様な意見を受け入れ、よりよい生活を創りあげようとする子どもに育つ」ことが検証できた。

少人数の集団の人間関係やこれまでの経験などから、多様な意見が出づらく偏りが生じることもある。「先生の言った意見でいい」「やってみたいから」など十分議論されないまま教師の意見に決まってしまうこともある。教師が児童から多様な意見を引き出す方法を考えていく必要がある。引き続き次年度も継続して研究を推進したいと考えている。

## 島根教弘会報 令和6年度 第2号

発行日 令和6年12月6日

発行兼編集

〒690-0887 島根県松江市殿町33番地

公益財団法人 日本教育公務員弘済会島根支部

E-mail: simane@nikkyoko.or.jp

株式会社 島根教弘

E-mail: shimane@nikkyoko.co.jp

責任者 河原 一朗

TEL 0852-24-1059

FAX 0852-31-6089

HP: https://nikkyoko-shimane.jp

TEL 0852-24-7750

印刷・製本 明和印刷有限会社



日教弘島根支部の  
HP用QRコード